

3月18日「雪国の省エネ戦略学習会」に48名

雪は1グラム80カロリーの贈り物

公開学習会「利雪について」が2018年3月18日（日）13:30~15:30、仙台サポセンの研修室で開かれました。講師は山形大学名誉教授の横山孝雄先生。主催者の予想を超えて48名の参加者があり、研修室の定員をオーバーするほどの盛況でした。



厄介者の雪が宝に変わる

横山先生のお話は、講演会のサブタイトル「雪国の省エネ戦略」、「雪は裏日本の厄介者でも1グラム=80カロリーの贈り物？」にもあるように、厄介者としか思われていない雪が実は自然エネルギーの宝物であることを、具体的な実施例を示しながら説明して下さいました。特に尾花沢市役所において、庁内に作られた雪山ヤードを利用した庁舎の冷房システムは、少ない初期投資と維持費で雪冷房が可能なことを示してくれました。

牛舎の冷房やお酒の熟成にも

具体例として山形県立大農学校での牛舎での雪冷房を紹介、夏季の高温のために倒れる牛の救済に役立っていることを示されました。

また雪室に蓄えた野菜や穀物が糖分を増やし、味を良くすることや、雪室で熟成させたお酒が美味しいことなどが報告されました。

雪室(むろ)と太陽光合体の夢

今、きらきら発電でも山形県の金山町の山間の空き地に太陽光発電と雪室を組み合わせた発電施設を造る夢のような構想があります。本日の講演会はこの構想がまんざら実現不可能な夢物語でないことを感じさせるものとなりました。

雪は冷たい物質です、しかし雪エネルギーの利用は他の化石燃料や原子力とは違い、雪の融解エネルギーをゆっくりと利用する点で何となく“人間味あふれた暖かな”エネルギーと感じたのは私だけでしょうか。(松浦)

きらきら初心者の感想エトセトラ

「利雪」についてのお話というから、たくさんの雪の中で野菜などを貯蔵して、おいしく食べる話かしらん？と思いつつ参加してみました。ところがいただいたレジメには、数式やエネルギーの図式が・・・。「しまった、門外漢だった！ついていけないわ、こりゃ。」とひるみました。そして展開していくのは、冷房の大きかりなお話。「詳しいことはわからないけど、とにかくすごい！」と思うしかありません。また、積み上げた雪山の残り具合の、半径やら体積やら雪質、シート、etc、の研究にもまたびっくり。科学的裏付けがされ、合点のいくこともたくさんありました。

でも、ここ仙台じゃそんなに雪なんて降らないから、雪冷房なんてできないし・・・?!。

いやいや、そうじゃなくて、今回のお話は、“厄介者”扱いされていた雪が、発想と工夫ですばらしい“贈り物”に大変身するのだよ、ということだったと思います。エネルギーを考えた時、厄介だと決めつけず、柔らかなものを見方をして工夫をし、それが環境に優しく関わっていくことにつながるかもしれない、という感想を持ちました。

さて、さしあたっての厄介者といえば、近頃の猛暑、酷暑？。この熱エネルギーをなんとか冬の暖房に活かさないでしょうか。

(青葉区 きらきら発電初心者)

亘理4号機に基金・寄付金1623万円集まる

亘理町長瀬に、4月資源エネルギー庁の認可受け、8月開設へ

きらきら発電は、2018年度事業として、亘理町長瀬字大橋 220 番地に太陽光発電 4 号機(低圧 50k w、パネル 94k w、建設費用 1,800 万円)を建設する予定です。4 月中に、資源エネルギー庁の許可が降りる見込みで、8 月には開設する予定です。

1 月から建設基金・寄付金の応募を開始しましたが、58 名の方から、3 か月間に基金 1,581 万円、寄付金 42 万円、合計 1,623 万円の申し込みがありました。1,350 万円の目標ですから、120%の超過達成です。ご協力に感謝します。

東北電力の再エネ連係拒否問題

学者やマスコミ各社が問題視

東北地方青森・秋田・岩手・山形 4 県および宮城県北部で、東北電力が送電線の空き容量がないことを理由に、風力発電や太陽光メガ発電の連係を拒否したり、送電網拡大経費(数億円)を請求する事案が発生し、社会問題化しています。

京都大学安田陽教授らのグループの研究によれば、大手電力十社の送電網利用率は平均で、19, 4%。その中で平均利用率 12%と一番低い東北電力が、管内の半分以上の地域に空き容量がないとしているとの分析。ちなみに空き容量なしとせず、再生エネルギーの連係を拒否していない九州電力の送電網の平均利用率は 53%です。

安田陽教授らによれば、一時的に利用率が 100%を越えた実績のある回線は 60 路線で、東北電力管内ではありません。

きらきら発電ではこの「送電網問題」を勉強し、近いうちに関係団体と共同で「東北電力」に対し、市民向けの説明会を開催する要求書を提出したいと考えています。



4月30日きらきら発電定期総会 会員は出欠の葉書投函を

4月30日(月)仙台市青葉区広瀬通りの仙台市市民活動サポートセンターで、きらきら発電の定期総会を開催します。日程および議事次第・記念講演は以下の通りです。

会員の皆様(正会員 92 名・準会員 108 名)には既に出欠用の葉書をお届けしています。4月5日までに 67 名の方から返事が届きましたが、133 名の方からいまだ返事が届いていません。お手元の資料を確認の上、至急返信用葉書を投函してください。

総会議事 = 午前 9 時 15 分 ~ 10 時 10 分
議案 = ①活動報告と次年度方針、②活動計算書と活動予算書、③次年度役員体制
記念講演 = 午前 10 時 10 分 ~ 正午
テーマ = 「地球温暖化ストップを！」
講師 = 橋本功二先生(東北大学名誉教授)

きらきら発電市民共同発電所ニュース
2018 年 4 月号 〒981-3215
仙台市泉区北中山 3 丁目 1 7-1 2、広幡方
電話・FAX 0 2 2(3 7 9)3 7 7 7
ホームページ kirakirahatuden.com/
Eメール kirakirahatuden@outlook.jp